

予防医学協会総合健診センター ヘルスポートだより

* 一日かけて自分の健康と 向き合う時間を過ごす *

当センターでは、今年4月よりトヨタ自動車健康保険組合様の健康診断のお手伝いをさせていただいております。

もともと当センターでは午前に人間ドック、午後に結果説明…という一日の流れになっていますが、トヨタ自動車健康保険組合様の健康診断は、丸一日かけて『自分の健康・生活習慣について向き合う日』という新しいスタイルで実施します。

節目者(36、40、44、48、52、56、60歳)の皆様を対象に、午前中に人間ドック(ハイレベル項目)、午後は健康学習会を行います。健康学習会では結果説明の後、保健師による生活習慣改善のための勉強会として食事バランスガイド・運動エクササイズの説明を行い、ご自身のデータをもとに生活習慣改善の目標設定をしてもらいます。勉強の後は、生活習慣病に気をつけるための運動実践を行います。日々継続してできる基礎代謝力を高めるためのストレッチ運動、簡単な筋力トレーニングなどを紹介し、継続して実施することの大切さを学んでいただきます。

特徴となるのは、ご夫婦で一緒に受診できますので、お互いの健康に気づき合い、健康に関する興味も増して、より良い健康生活を過ごしてもらえるのではないかと期待しております。

以上ご紹介した内容はトヨタ自動車健康保険組合様の健診スタイルですが、今後、当センターも検査のみでなく、健康な身体を維持していくための学習会、運動の紹介などを行うことによって、さらなる皆様の健康管理のお手伝いができたら良いと考えています。

これからも、皆様に満足していただける健診機関としてご利用いただけましたら有難く思います。



生活習慣改善勉強会



運動実践中の受診者

(総合健診センター 健康増進課 太田 貴)

日本人の死亡原因の上位を占める悪性新生生物(がん)、心疾患、脳血管疾患の発症には生活習慣が深く関連しています。今年度より開始された特定健診では内臓脂肪症候群(メタボリックシンドrome)の該当者や予備軍を抽出し、生活習慣の改善を図ることを目的としています。

メタボリックシンドromeとは内臓脂肪型肥満を共通の要因として、高血糖、脂質異常、高血圧といった生活習慣病になるリスク因子を複数併せ持つ危険因子を飛躍的に進行させ心疾患、脳血管疾

また、現在では悪性新生物(がん)が死因の第一位となりがんの制圧は健康対策のなかで最も重要な課題となっています。しかし

特定健診では、基本健診項目(身体・体重・腹囲計)となっています。しかしながら、がんは治療も大いに進歩し、治せる病気になりつつあります。早期発見、早

検診を受けることが出来る検診を受けた後、同日に実施されています。

特定健診では、基本健診項目(身体・体重・腹囲計)

となっています。しかしながら、がんは治療も大いに進歩し、治せる病気になりつつあります。早期発見、早

検診を受けることが出来る検診を受けた後、同日に実施されています。

特定健診では、基本健診項目(身体・体重・腹囲計)

となっています。しかしながら、がんは治療も大いに